

北海道文教大学 後援会 会報

No. 9

CONTENTS

後援会活動報告	1
理事長・学長挨拶	2
就職課便り	3
平成23年度決算	4
平成24年度予算・事業計画	4
第14回北海道文教大学大学祭『榮凛祭』	4

平成24年9月14日(金)

発行責任者 遠山英行
発行係 〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
北海道文教大学事務局学務部学生課内
北海道文教大学後援会 TEL0123-34-0011

「平成二十四年度の後援会活動などについて」

北海道文教大学後援会会長 遠山英行



会員の皆様には日頃から後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ご承知のように、北海道文教大学後援会は、文教大学の建学の精神に則り、会員の皆様相互のご協力によって大学を後援し、その発展充実に寄与することを目的として、会員の皆様からお預かりした会費収入により、様々な事業を展開しています。

この会報では、二十四年度事業計画の報告等を通して、会員の皆様へ後援会活動に対するご理解を深め、より関心を持って頂くことを目的としてお知らせいたします。

平成二十四年度は鶴岡学園創立七十周年という節目の年に当たります。鶴岡学園創設者であり、鶴岡新太郎博士夫妻が醸した建学精神「清く、正しく、雄たく進めぬ」と、学生第一主義や地域との連携、社会貢献等を図りながら理事者・教職員が一丸となつて七十年という輝かしい歴史を刻んできたことに対して、あらためてお祝い・お慶び申し上げます。

変革が求められる時代にあつて、私学を取り巻く環境は厳しいものがありますが、北海道文教大学の使命・目標の達成に向けて、創立百年を見据えながら着実に歩みんことを心からお祈り申し上げます。

後援会としては、微力ながら大学との連携を更に強化して後援会事業を展開する中で後押ししていきたいと考えております。

①後援会総会について
今年度より、入学式後に大学主催の学科説明会があり、総会がこれに終了した後に開始となることから、参加者が例年より減ることが懸念された。当日参加者は予定数より少なく、二十四名であったが、ご出席された各々が後援会活動に関心が高く、活発な議論が展開されました。

平成二十四年度予算に関して、

○学生指導助成の内容について説明して欲しい
学生指導助成事業とは、学生と教員の人間の触れ合いを深め、学生生活全般、修学及び進路等についての個別指導を入学時から行い、各学科の教育目的や指導課程を十分に理解させ大学教育の効果を高めるものです。指導教員10人にアドバイザー制度を設けて、教員が学生に対し四年間の修学及び学生生活全般について日常的に相談に応じ、助言を与える学生指導上のシステムです。具体的な助成方法は、各指導員から懇談会、研修会、レクリエーション等の企画と併せ、当企画の目的及び経費等が記載された申請書の提出を受けた後、助成するもので学生二人当たり年間二千万の予算付けを行っています。

○学生活動助成の詳細と大学…後援会の比率配分について
学生活動助成の内訳としては、学生会助成・文化体育助成・各種行事助成事業があります。後援会が行う事業は独自性をもって行うものですから、基本的には大学の比率配分

は存在しないという内容のお答えをさせていただきました。

○就職活動助成の強化について再考を要する必要があるのでは
就職氷河期が依然として続いており、重点事業の一つに入っている。予備費が多くあることから、就職活動に有利となるような事業へ予算を付けて強化していくことを、今後の役員会で検討して実現に向けていきたいと考えています。

○予備費の支出対策について…全体予算から見ると予備費の突出が目立つが、効果的運用法はないのか
予算作成時に問題となっていたところであるが、新規事業の模索、現行事業強化等と解決を図るべく役員会で検討していくことでスタートしている。今後もこの重点的に検討しなければならぬ課題であると強く認識しています。

②平成二十四年度の新規・拡充事業について

①国家試験問題集の購入について
国家試験の問題集が不足しているとの学生の要望に応えて事業化するもので、今年度は百万円を予算付けしました。購入方法に関しては、大学に依頼して具体化を図ってまいります。

②学校法人鶴岡学園創立七十周年記念事業に対する助成について
予算額としては三百万円を目途として助成してまいりたいと考えています。物品の購入に関しては現時点で特定していませんが、大学の意向を踏まえながら検討していくようにしていきます。

③就職活動助成への新たな事業の取り組みや文化体育助成事業の強化について
就職する際、有利に働くと思われる資格を取った場合に助成対象となるが、医学系のように国家試験模試を就職助成とみなせるかどうか議論となっている。文系語学系の上位合格者への半額助成と、医学系の国家試験模試への助成を比較するには、スタンスが違っているようにも思えるが、人数的・成績的なものを調査して予算付けが可能かどうかを検討していきたい。

文化体育助成に関しては、事業の計画性や上半期の執行状況等を勘案して、更生予算作成時期に厚くしていくことを検討する。第一回役員会において、各理事から要望等を把握した上で、事業強化を図ってまいります。

④新規事業の策定に向けて
二十四年度第一回ワーキングや役員会において、新規事業を具体化する意見は出ず、現行事業の内容を強化しようとする意見が多くなりました。予算付けした各事業の執行率を検討しながら、更生予算作成時期にどの事業に対して更なる積み重ねが妥当なのかを判断してまいります。

⑤後援会会則の見直しについて
後援会役員会の任期や役員会の定足数、役員構成などに関し

て、現行の会則では十分に対応できない不備点を感じている役員もいることから、来年度の総会に向けて、現会則を修正する作業に取り組み必要性を検討してみたい。具体的方法としては、三役で採んだ案をワーキングへかけ、役員会で検討・協議して来年度の総会に向けていく方向で考えています。当初、法規に詳しい理事へ会則見直しを依頼していただき、作成した後に、ワーキング、役員会で検討するとして作業手順案を第一回役員会にて上記の方法へ変更しました。

⑥役員会の充実について
後援会の最高議決機関である総会が、例年、出席者数が少なく経過していることから、年三回開催される役員会が重要な位置づけとなってきております。

できるだけ多くの理事に参加して頂き、多くの意見を頂き、後援会事業へ反映させていくことが求められております。今までは以上に三役会議やワーキングなどの役員会前段の会議において問題点整理や解決策・方向性の提示を行い、役員会において実りある議論が展開されるように工夫していく所存です。
各理事には積極的な役員会参加をあらためて要望し、役員会の質の向上を確保してまいりたいと考えています。

⑦役員に関するアンケートについて
例年、後援会役員の出欠に苦労していることから、今年度から新一年生の父母を対象としたアンケートを実施してまいります。今回は回収率が48.8%で、役員を引き受けても良いと回答して頂いた方が九名いました。長年の課題であった後援会三役・会長、副会長、監査を正規役員で構成することができるとなり、理事就任依頼作業もスムーズになってきています。来年度についても実施する方向で考えています。

○吹奏楽部定期演奏会について
去る三月十一日に恵庭市民会館において行われた第一回定期演奏会に招待を受け、その演奏をじっくりと聴く機会を持たせて頂きました。聴くたびに毎にレベルアップを感じさせる演奏技術に感動を覚えながら毎に感して頂きました。練習に裏付けされた部員一人一人の自信に満ちた表情が素晴らしい音色と共に、聞く者の心を揺さぶっているように思えました。
この定期演奏会が、市民との交流の場として、この懸け橋となつて、地域に根づくイベントとして成長し続けていくことを願っております。楽器購入に関して、後援会としても協力させて頂きました。部長挨拶の中であらためて後援会に対してお礼の言葉を述べられたことを紹介しておきます。

忙しい学業の中で、練習時間を確保して演奏技術を磨き、入学式や学位記授与式・大学祭等で北海道文教大学のステータスを高めたいということに対して、常任指揮者指導者・小嶋重男先生はじめ木村浩一先生や吹奏楽部部員一人一人に対して感謝申し上げます。

以上、報告させて頂きましたが、目的とするところは冒頭にも述べましたように会員の皆様へ後援会活動をお知らせしてご理解、ご協力を得ることにあります。是非、ご一読頂き後援会事業に対するご意見・ご要望をお寄せ下さい。それら後援会事業に反映させて事業の活性化を図ってまいりたいと考えております。

役員はそれぞれ仕事をしながら後援会活動に従事していただきますので、活動に行き届かない点が多々あると思われまが、会員の皆様には事情をご察察の上、今後とも後援会活動への積極的なご参加とご協力、ご理解、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

理事長・学長挨拶

本学の実学教育と

自立・貢献・未来

学校法人 鶴岡学園 理事長
北海道文教大学 学長

鈴木 武夫



過日の学園創立記念日には内外から多数のご来賓をお迎えして、「鶴岡学園創立七十周年」の式典と祝賀会を盛大に執り行うことができました。

学園の貴重な歴史を顧みつつ、現状をしっかりと把握し、未来への展望を切り開く視点を提示させていただきました。

このことは、学生諸君と教職員一同、そして後援会の皆様の力の結集の成果であることに心から感謝申し上げますと同時に、学園の未来へ向けての結束を固めることに大きな意義があることを再確認するところであります。

さて、それに続く国際的なイベントとしてのロンドンオリンピックは私たちに大きな感動を与えてくれました。近年精神的な脆さを指摘されることの多い日本の若者の底力と、逞しさを再認識させてくれました。特に「女子サッカー」の銀メダル獲得は全種目に先駆けて予選リーグを勝ち上がって全体を鼓舞し、終幕にあっても大きな勇気を与えた戦いとして見事なものであります。

チームの一員として明清高校の出身者が、数少ない出場機会のなかにあってもしっかりと役割を果たしたことは感銘深いものであります。

同世代の活躍を目の当たりにすることが、本学の学

生諸君にとっても、一層の精進の動機付けになるものと期待します。

本学は「実学の徹底によって、学生をニートやフリーターにすることなく、着実な職業人になること」を大きな目標に設定しております。

なぜいまこの点を強調するかと申しますと、一つは学生諸君が卒業するまでに確実な実力をつけて、社会にあつて「自立」した存在となることが基本であるからです。

そして次に、その職業の責務を果たすことによつて社会に対して「貢献」することのできる存在であることが自己の充足につながり、また社会を支える具体的な力になるからであります。

そしてその力量によつてこそ、自分と社会の「未来」を切り開く行動に参画することができるからであります。

幸いなことに学生諸君と教職員の理解と努力により、例年就職希望者の九十五%以上の決定率を達成していることを心強く思います。

本学園の創立七十周年の時点にあつて、足元を見つめ直して未来へ向かうという姿勢で進んでまいる所存であります。後援会の皆様のなお一層のご理解とご支援をお願い申しあげます。

平成24年度 北海道文教大学後援会役員名簿

名誉会長	鈴木 武夫	顧問	伊藤 蒼志久	会長	遠山 英行	副会長	鈴木 武夫	副会長	石山 武浩	副会長	木村 慶吾	監査	佐藤 博	監査	武永 真	理事	村上 伸子	理事	橋本 弘	理事	齋藤 千賀子	理事	佐々木 育映	理事	田島 典子	理事	藤田 順子	理事	木村 昌子	理事	新藤 由美	理事	渋谷 博子	理事	後藤 秀樹	理事	大原 奈津子	理事	萩野 克己	理事	齋藤 弘明	理事	神谷 忠孝	理事	近藤 文衛	幹事	浅見 晴江	幹事	萩根 澤則文	幹事	大藤 昭	幹事	山本 淑子	幹事	石丸 朝生	会計	
------	-------	----	--------	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	----	------	----	------	----	-------	----	------	----	--------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	------	----	-------	----	-------	----	--

就職活動への期待

今春卒業した大学生の就職率は、全国的にも、最悪であった昨年から大きく改善されました。不況が続く、大学生の就職率が前年を上回ったのは、4年ぶりです。

厚生労働省・文部科学省の全国6ブロックの一つになっている北海道・東北地区の就職は、3年ぶりに九十%台になりましたが、全国の中でも最低でした。

就職希望者の内、内定を得られなかった大卒者は、全国で、約二万五千人に上ると推定され、北海道は、千六百九十六人になっています。

厚生労働省では、大学とハローワークの連携強化などを就職率改善の要因に挙げながらも、「企業の求人が大きく回復したとは言えず、就職環境は依然厳しい」と分析しています。

一方、二〇一三年春卒業予定学生から就職活動は、昨年まで十月一日としていた大学三年生への「広報活動」の解禁日を二月月遅い十二月からになりました。この時期が、実質的な就職活動の始まりになります。これは、就職活動が、学業などの妨げにならないよう、会社説明会などの開始時期を遅らせた為です。4年生の未内定者が、年度末近くになっての最後の就職活動の中で3年生の就職活動の開始になります。

面接等の選考活動の開始は従来通りです。実際は、会社説明会等に於ける学生と採用担当者との顔合せやエントリーシートを提出した後、選考が始まり、早い学生では、五月の大型連休明けには、内々定が出始めるのは、変わりはありません。ただ学生が、企業にアプローチ出来る期間が短くなったことから、本学生に於いても出遅れまいと準備を急ぐ学生が目立つようになっています。

近年、企業の求人関係の予算の節約もあり、合同企業説明会や会社説明会の開催も少なくなっています。この説明会に於いても、学生の参加数が増加の傾向にあります。

理学・作業・看護学科の学生は、臨床実習中で、就職活動は、秋以降になり、健康栄養学科の学生は、国家試験対策に現在、集中しており、人間科学部は、全体的には、就職活動は遅くなる傾向にあります。

外国語学部の内定報告は、二八・八%です。(八月末現在)

早くから就職活動に取り組んできたが、入りたい

企業にこだわって活動を続けてきた学生にとっては、苦戦が続いてきています。

早くに軌道修正出来なかった学生の多くは、どうしても、長期間の就職活動になる傾向があります。

未内定者の学生に対する心配は、大企業や自己の目指してきた企業の選考試験に失敗し、なかなか希望にかなわなかったことが続き、就職活動を諦めてしまつてことです。

企業説明会の参加や選考試験等、長い就職活動からくる肉体的、精神的な疲れが夏以降出てくるかもしれません。

このことは、どの大学の学生にも共通することです。孤立感や絶望感を持つことなく、求人情況や現状の自分を適切に分析し、前向きに進んで欲しいと思います。

夏が過ぎるこれからの時期、早く内定をもらおうと、就職活動への動きが目まぐるしい学生も目立つてきます。

しかし、それらの学生について、各企業の採用担当者から「切迫感が伝わってこない。企業について、良く知らないで、あまり興味を持たないのに試験を受け、「内定だけを欲しがるとの声が聞かれます。

また就職情報会社の方からは、「特定の企業にどうしても就職したい気持ちよりも、どこでもいいから卒業後「内定」を取って、勤めれば良いとの安易な考えがみられる」との厳しい指摘も聞こえてきます。

就職後の自分を想像することなく、とにかく内定を獲得する為だけの活動になってはなりません。

これからの時期は、「社でも多くエントリーを」「社でも多くセミナー参加を」など企業の内容よりも、エントリーや履歴書の提出企業数を増やす為の就職活動の学生が見られるようになってきます。

本学生にも、その傾向が例年見られてきますので、志望動機や入社後の自分をイメージし、活躍の姿を想像して、選考試験の準備に取り組むよう指導に当たっています。

企業研究を尽くし、内定獲得に向けて、力強く立ち向かって欲しいと思います。

笑みを絶やさず、明るく元気に前に進んでください。

現実を冷静に見つめ、ありのままの自己を分析し、着実に取り組んでいけば、結果はついてくるものです。

就職課としては、個々の学生の企業選択や履歴書・面接対策等、就職活動の良き支援者として、共に取り組んでいきたいと考えています。

学校法人鶴岡学園

70th

学校法人鶴岡学園

創立70周年

北海道文教大学



平成23年度 決算

<収入の部>

科 目	予算額	決算額	備 考
繰 越 金	¥5,117,291	¥5,117,291	
会 費 収 入	¥33,000,000	¥33,396,000	16,500円×2,024人
雑 収 入	¥3,926	¥3,817	普通預金利息
合 計	¥38,121,217	¥38,517,108	

<支出の部>

科 目	予算額	決算額	備 考
1.事務費	¥700,000	¥562,410	
(1)通信費等	¥700,000	¥562,410	総会・父母懇・役員会等案内状郵送
2.会議費	¥1,600,000	¥1,477,797	
(1)総会	¥600,000	¥584,925	総会費用・紅白饅頭(入学式配布)
(2)役員会費	¥1,000,000	¥892,872	役員会・WG・交通費
3.事業費	¥26,000,000	¥23,411,928	
(1)学生活動助成	¥9,000,000	¥8,161,200	
(a)学生会助成	¥1,000,000	¥1,000,000	学生会(大学)助成
(b)文化・体育助成	¥7,000,000	¥6,161,200	学生活動に関する助成
(c)各種行事助成費	¥1,000,000	¥1,000,000	大学祭・体育大会等行事助成
(2)「後援会文庫」整備事業費	¥2,000,000	¥2,000,000	書籍の購入
(3)父母懇談会	¥2,000,000	¥1,530,327	本学キャンパス・地方2会場(旭川・函館)
(4)卒業記念助成	¥3,000,000	¥2,911,387	卒業記念品・紅白饅頭(卒業式配布)
(5)「卒業祝賀会」費	¥4,000,000	¥3,956,646	卒業祝賀会費用
(6)就職活動助成	¥5,000,000	¥4,413,980	就職講座等
(7)広報費	¥800,000	¥367,630	会報・広報活動
(8)慶弔費	¥200,000	¥70,758	香典
4.学生指導助成	¥4,000,000	¥3,195,828	アドバイザー制度助成(学生指導助成事業)
5.後援会活動調整基金	¥1,000,000	¥1,000,000	
6.予備費	¥4,821,217	¥0	
支出合計	¥38,121,217	¥29,647,963	

平成24年度 予算

<収入の部>

科 目	予算額	備 考
繰 越 金	¥8,869,145	
会 費 収 入	¥34,650,000	16,500円×2,100人
雑 収 入	¥3,000	普通預金利息
合 計	¥43,522,145	

<支出の部>

科 目	予算額	備 考
1.事務費	¥700,000	
(1)通信費等	¥700,000	総会・父母懇・役員会等案内状郵送
2.会議費	¥1,600,000	
(1)総会	¥600,000	総会費用・紅白饅頭(入学式配布)
(2)役員会費	¥1,000,000	役員会・WG・交通費
3.事業費	¥26,000,000	
(1)学生活動助成	¥9,000,000	
(a)学生会助成	¥1,000,000	学生会(大学)助成
(b)文化・体育助成	¥7,000,000	学生活動に関する助成
(c)各種行事助成費	¥1,000,000	大学祭・体育大会等行事助成
(2)「後援会文庫」整備事業費	¥2,000,000	書籍の購入
(3)父母懇談会	¥2,000,000	本学キャンパス・地方2会場
(4)卒業記念助成	¥3,000,000	卒業記念品・紅白饅頭(卒業式配布)
(5)「卒業祝賀会」費	¥4,000,000	卒業祝賀会費用
(6)就職活動助成	¥5,000,000	就職講座等
(7)広報費	¥800,000	会報(年2回)・広報活動
(8)慶弔費	¥200,000	香典
4.学生指導助成	¥4,000,000	学生指導に供する助成
5.後援会活動調整基金	¥2,000,000	周年記念事業等
6.予備費	¥9,222,145	8号館竣工経費 70周年記念事業 等
支出合計	¥43,522,145	

収入・現決算額 ¥38,517,108
 支出・現決算額 ¥29,647,963
 決算差異額 ¥8,869,145 (繰越額)

平成24年度
後援会
事業計画

平成24年4月1日	定期総会	平成24年11月	第2回ワーキンググループ
平成24年4月	第1回ワーキンググループ	平成24年12月	第2回役員会
平成24年6月8日	鶴岡学園創立70周年記念事業	平成25年2月	第3回ワーキンググループ
平成24年6月	第1回役員会	平成25年3月	平成24年度学位記授与式記念品助成
平成24年7月	キャンパスウォッチング	平成25年3月	平成24年度卒業祝賀会及び同窓会入会式助成
平成24年10月	大学祭の助成	平成25年3月	監 査
平成24年10月	父母懇談会(恵庭キャンパス)助成	平成25年3月	第3回役員会
平成24年10月	中間監査		



時間
 六日(土) 十時～二十時
 七日(日) 十時～十九時三十分

場 所
 北海道文教大学
 恵庭市黄金中央五丁目九六番地の
 0123(34)0011

日 程
 十月五・六・七日(金・土・日)
 ※一般公開は六・七日(土・日)です。

北海道文教大学の大学祭「榮凜祭」は今年で十四回を数え、大学祭実行委員会は、七十周年を迎えた鶴岡学園の生誕を祝うとともに、大学祭に係わる方々と協力し、新たな北海道文教大学らしさが誕生するよう目指して、参加した学生、地域の方々、そして私たち大学祭実行委員が時間を忘れるほどの楽しさを感じてもらえるような雰囲気づくりに努め、歴史に残る大学祭にしたいという思いを込めて、日夜、企画・立案を考えております。
 お時間があれば、ぜひとも足をお運びいただけましたらうれしいです。大学祭実行委員会一同、心よりお待ちしております。

第十四回北海道文教大学大学祭「榮凜祭」

